

大樹の礎

Taiju no Ishizue

第22号 2018 7.9
 発行者：学校法人 城西医療学園
 日本医療科学大学
 Nihon Institute of Medical Science
 〒350-0435
 埼玉県入間郡毛呂山町下川原1276
 TEL.049-294-9000
 URL http://www.nims.ac.jp

ご卒業306名・ご入学338名、おめでとうございます！

平成29年度 学位記授与式

3月12日、川越プリンスホテルにおいて、平成29年度学位記授与式が盛大に行われました。卒業生数は、診療放射線学科91名、理学療法学科専攻74名、作業療法学科専攻28名、看護学科74名、臨床工学科39名の合計306名にのぼりました。

開式の辞「君が代」斉唱、学位記授与、学生表彰が終わると、新藤博明学長が「卒業生の諸君は自ら選んだ医療職への第一歩を踏み出すわけですが、既に本学を卒業した先輩方が築いてきた実績を胸に、仕事に誇りを持ち、自分に自信を持つてください。そして本学の建学の精神である報恩感謝の心も忘れずに、人生の王道を歩いてください」と述べました。

続いて本学の創立者でもある新藤宣夫理事長は「医療現場は時代の流れと共にめまぐるしく変わってきています。そんな中で卒業生の諸君は厳しい現実にも負けない強い気持ちで、前に向かう姿勢を持って頑張ってください」と述べました。

卒業生代表で謝辞を述べた診療放射線学科の五十嵐ありささんは「卒業を迎えた今、医療従事者としての期待の大きさと責任の重さを感じ、身の引き締まる思いです。これからは本学の卒業生としての誇りと責任感を持ち、医療の現場で励むことを皆様の前でお誓い申し上げます」と宣誓しました。卒業生は各々が選んだ医療の道に向け、その目を輝かせていました。

平成29年度卒業生受賞者

- ◎診療放射線学科
 - 学長賞 五十嵐ありさ
 - 埼玉県診療放射線技師会 会長賞 仲座ひかり
 - 埼玉県診療放射線技師会 奨励賞 浮田 峻志
- ◎理学療法学科
 - 学長賞 柿沼 亮太
 - 日本理学療法士協会 優秀賞 佐藤妃奈乃
 - 全国リハビリテーション学校協会 優秀賞 根岸 弘輝
 - 理学療法科学学会 優秀賞 木下 拓人
- ◎作業療法学科
 - 学長賞 渡辺 大貴
 - 日本作業療法士協会 優秀学生賞 武藤沙耶香
 - 全国リハビリテーション学校協会 優秀賞 遠藤せりか
 - 埼玉県作業療法士会 会長賞 池田祐葵菜
- ◎看護学科
 - 学長賞 高橋 幸子
 - 日本私立看護系大学協会 会長賞 村上 茜
 - 埼玉県看護協会 会長賞 菅野友香梨
- ◎臨床工学科
 - 学長賞 湯本 大貴
 - 日本臨床工学科士会 理事長奨励賞 辻 瑞樹
 - 日本臨床工学科士教育施設協議会 代表理事賞 佐藤 仁哉



開催日：平成30年3月12日(月) 開式：午前11時
 会場：川越プリンスホテル(川越市新富町1-22)

平成30年度 入学式

4月3日、川越プリンスホテルにおいて、平成30年度入学式が華やかに開催されました。診療放射線学科84名、理学療法学科専攻82名、作業療法学科専攻37名、看護学科86名、臨床工学科49名、合計338名が、入学の認証を受けました。

新藤博明学長は「新入生の諸君は、おのおのが選んだ専門の医療従事者として活躍する自分の姿を思い描き、本学へ入学されたことと思います。将来、諸君が接する患者様は、病气や怪我と向き合っている方々です。つまり、諸君は医療の現場において、生命、健康、人としての根源となるものに接するわけです。国家試験合格のための勉学はもちろん、どうか人として大きく、あらゆることを吸収できる人間となるよう

に努めてください」と述べました。

続いて新藤宣夫理事長が「朝の挨拶ひとつだけでも、患者様の心にも与える影響はとて大きいです。医療従事者として勉学はもちろん、人間形成にも励み、有意義な大学生活を過ごしてください」と述べました。

新入生代表として登壇した作業療法学科専攻の山口沙弓さんは「私たちが新入生一同は、身の引き締まる思いと希望、期待で心躍る心境です。これから困難なことに立ち向かうこともあるかと思いますが、同じ目的を持って入学した仲間と手を携え、精進して参りたいと思います」と宣誓しました。保護者の皆様、来賓の方々、教職員に見守られた中、新入生は大学生活の第一歩を踏み出しました。

2018 Entrance Ceremony



平成30年度 日本医療科学大学 入学式



開催日：平成30年4月3日(火) 開式：午前11時
 会場：川越プリンスホテル(川越市新富町1-22)

Interview

学長インタビュー 求人説明会と大樹祭の早期開催

学長 新藤 博明



新藤博明学長

求人説明会と大樹祭の早期開催のメリット

「今年度の大きな動きとして、行事のスケジュールが変わりましたが、その狙いはどのようなものでしょうか。」

学長 昨年度まで8月に開催していた求人説明会を4月に、11月に開催していた大樹祭を6月の早期開催としました。

求人説明会の早期開催は、就職活動を取り巻く状況の変化などもありますが、学生にとってもプラスに働くこととなります。

4年生は、この時期に求人説明会を開催することで、実習等で忙しくなる前に就職活動の準備が進

められ、国家試験合格に向けて万全な体制で臨むことができます。また、大樹祭終了後、昨年度よりも国家試験日までの期間が長くなり、国家試験合格のための勉強や実習に打ち込めますので、おのずと就職内定や国家試験合格といった成果につながることもできます。

他の学年については、大樹祭が同級生や先輩・後輩との輪を広げる良いきっかけの一つになりますので、学生同士の交流が早い時期に深まり、大学生活がより有意義になるでしょう。特に1年生は入学して間もない時期ですので、本学に慣れ親しむ意味でもメリットは大きいです。

ボランティア活動の活性化、国際交流、地域や卒業生とのつながり

ボランティア活動の取り組みについてお聞かせください。

学長 これまでも盛んに行われていた本学のボランティア活動に関して、地域・社会に顕著に貢献したことを評価して、対象となる学生を表彰する制度を設けました。ボランティア活動に参加する学生数は毎年300〜400人おり、今年度は新入生も積極的に、すでに4月の時点で60人以上がボランティア活動への参加を申し出ています。学生のこうしたボランティア活動への積極的な姿勢をもっと広げていき、豊かな人間性を兼ね備えた医療従事者として成長してもらいたいです。

国際交流や地域とのつながりにも力を入れているようですが。学長 国際交流については、オンライン海外研修をはじめ、学術交流協定先との交流、海外の学術大会への参加などの機会を増やしています。地域という点では、ひとつの例え

ですが、昨年度竣工した体育館など本学施設を有効活用し、地域の方々と学生の交流を深められ



教壇に立ち講義をする新藤博明学長

ば学生のあらたな一面が見られるようになるかもしれません。更に、キャンパスに隣接して新たに設けた畑も、地域の方々とのコミュニケーション醸成の場として地域活性化につながるかもしれません。

卒業生とのつながりについておうかがいます。

一昨年に大学創立10周年を迎え、前身の城西医療技術専門学校も含めて卒業生の層が厚くなり、JJN同窓会での本学卒業生の活動が今後楽しみます。また、本学の卒業生のみを対象としたホームカミングデーを企画しました。卒業生との交流が活発になれば、本学のさらなる飛躍につながるでしょう。

各専攻の専攻長からメッセージ

診療放射線学科 学科長 桑山 潤

1年次は、医療従事者を目指して基礎を培う時間です。高校までの勉強法から大学での学習法に切り換え、生活面では医療従事者としての基本である挨拶を習慣化してください。2年次は、専門科目が増えていきます。学習はもとより医療の現場で働いていくことをより自覚するよう心掛けてください。3年次は、臨床実習が始まり、現実に医療従事者としてデビューするときです。近い将来の自分の未来図を描いてください。4年次は、いよいよ本学での集大成のときです。できるだけ早い時期にどのような医療施設に就職したいのかを決めて、国家試験合格に向けて取り組んでください。

リハビリテーション学科 理学療法学専攻 専攻長 伊藤 芳保

1年次は、臨床に携わることが多い理

試験に役立ちます。3年次は、臨床工学技士として最も重要な生体機能代行装置の座学と実習を中心に学びます。より実践的な知識・技術を身につけてください。4年次は、臨床実習と卒業研究、総合演習を集大成として行いますので、国家試験合格に向けて取り組んでください。

看護学科 学科長 森田 恵子

1年次は、看護学の基盤となる科目を主に学習します。配布される多くの資料を、あとで振り返りやすいよう整理してください。2年次は、専門基礎専門科目が学習の中心となり難易度が上がりますので、復習する習慣が大切です。3年次前期では、専門科目を学習し、後期には5つの領域別実習(母性看護学・小児看護学・成人看護学・高齢者看護学・精神看護学)を行います。4年次は、国家試験に向けて学習内容を1冊のノートにまとめ、法の改正など関連ニュースをチェックしましょう。3・4年次の実習は国家試験合格につながります。日々の学習や実習に誠実に取り組んでください。

学療法士としてのコミュニケーション能力

や文章表現力を養うことが重要です。また、解剖学や生理学、運動学を学び基礎を身につけてください。2年次は、病態・障害と医学的治療法を学ぶ臨床科目、理学療法士として患者様を治療するために必要な検査・測定と理学療法治療学が重要な履修科目となります。3年次は、患者様に対する具体的な問題点の抽出と治療計画立案が行えることを目指してください。4年次は、治療学臨床実習が予定されています。基本的治療技術が行えるように知識の整理と技術的トレーニングを反復して身につけて、国家試験合格に向けて取り組んでください。

リハビリテーション学科 学科長兼 作業療法学専攻 専攻長 本田 豊

1年次は、医学や作業療法学の基礎となる解剖学、生理学、解剖学実習、運動学において予習と復習に努めてください。2年次は、臨床医学や作業療法理論

事務局の紹介

本学では「国家資格の取得」と「充実した大学生活」の両立を大切にしています。その実現に向けて、教員は基より事務局職員も様々な場面でサポートしています。今回より、事務局の現場レポートをお届けしていきます。

第1回 まずは学生課に!!

学生課には日々学生が様々な要件で訪れます。学生の皆さんが、より充実した大学生活を送ることができるようサポートしており、相談や不安の解消などにも力になりますので、お気軽に学生課にお越しください。



など専門知識の勉強、作業療法技術を

習得する勉強などで時間割が過密になります。放課後の実習室での練習と自宅での学習を習慣化することが大切です。3年次は、専門科目の勉強を中心にグループワークを通じ、協働して課題を解決する勉強が増えます。自ら進んで勉強に取り組む姿勢の有無が成果の差になります。4年次は、3年間学んだ専門知識を整理・統合し、国家試験合格に向けて取り組んでください。

臨床工学科 学科長 中尾 教伸

1年次は、基礎教育科目で科学的な思考力や人間性を磨くとともに、臨床工学技士を深く知り目標に向けて勉強に取り組む姿勢を培ってください。2年次は、医学・工学の基礎のほか、生体計測や治療機器などを学びます。実習で積極的に医療機器に触れ、操作や保守・管理の基礎を習得してください。9月に第2種ME実力検定試験(生体医工学会資格)を受験しますが、この経験は国家

求人説明会を早期開催!!

4月開催による国家試験合格に向けた環境づくり

4月24日、平成30年度求人説明会を開催しました。求人説明会は、本学に求人をお寄せいただく病院・施設と学生が出会う貴重な機会です。本学の単独開催でありながら東京国際フォーラムを会場とし、全国各地から訪れた病院・施設の採用担当の方々には約580名にも及ぶ規模の大きさを誇ります。就職活動に励もうという4年生はもちろん、来年に本格的な就職活動を控えた3年生も合わせて約700名の学生が参加しました。

後もフォロー体制を充実させ、学生個々の希望に沿った就職を支援していきます。



1200名以上が一堂に会する会場は大盛況。病院・施設の採用担当者の中には、本学の卒業生の姿も見られました

求人説明会の開催時期は、昨年度まで8月でしたが、昨今の就職活動を取り巻く状況の変化や、採用担当の方々からのご意見も考慮し、今年度は4月の早期開催としました。また、求人説明会を通じて学生が早い時期から就職を意識することで、卒業後の将来像をより具体化し、国家試験合格への意欲を高めて欲しいという狙いもあります。本学では毎年、学生個々に合わせた就職率100%を達成しています。今

病院・施設の採用担当の方々から直に話を聞くことは、医療従事者として働く自分の将来像を具体的にイメージすることにつながります



新任教員の紹介

- | | | | | | | | |
|--------------|-----------------|-----------------|-----------------|--------------|-------------------|---------------|---------------|
| | | | | | | | |
| 看護学科 助手 松本朋子 | 理学療法学専攻 助教 中村壮太 | 診療放射線学科 助教 吉本絵夢 | 診療放射線学科 助教 延澤忠真 | 看護学科 講師 田中光子 | 医療・基礎教育科 准教授 高橋光子 | 看護学科 准教授 松永洋子 | 看護学科 教授 奥野みどり |